



▶ 笠岡のカキを「ご賞味あれ

笠岡市漁協が主催する「かさおかカキ祭り」が2月20日、神島外浦港埋立地で開催されました。

このイベントは、笠岡諸島で養殖されているカキを広く知ってもらうため、今年初めて開催されたものです。全部で約7.5tものカキが用意され、朝早くからたくさんの人たちが水揚げされたばかりの新鮮なカキを買い求めています。また、子ども限定のカキ詰め放題では、制限時間内にひとつでも多くカゴの中にカキを入れようと、みんな一生懸命。そのほか、カキ汁・カキ飯や、買ったカキをその場で焼いて食べるなどして、笠岡のカキを堪能していました。

◀ かつての海辺を取り戻そう

日本カブトガニを守る会笠岡支部の主催で、2月6日（寺間公会堂）と20日（見崎集会所）に、里浜づくりの講演会が開催されました。

「里浜づくり」とは、かつての海辺と人とのつながりを現代に蘇らせようと、国土交通省が2003年から始めた事業。今年度、全国で23カ所の調査モデルの中に、寺間・見崎沖が選ばれました。

講師の東京大学大学院助手の清野聡子先生は、「里浜再生には、どんな海辺にしていきたいのか地域で共通認識を育てることが大切。そのためには浜の歴史を知ることが必要」と話していました。

今後、昔の写真を持ち寄り、海岸線の変化やどんな生物が棲んでいたかを話し合うワークショップや、浜辺に出て生物観察会を行う予定です。



◀ おかげいち盛上隊



▶ 商店街を盛り上げたい!

笠岡商店街の活性化に向けた動きが盛んになっています。

2月2日の「おかげいち」では、本町のまちづくり寄合所にうどんの無料提供所とウェルカムボードづくり教室が登場しました。これは、新たなにぎわいを演出する企画を募集した「盛上隊」で採用されたもの。社会見学で訪れた笠岡小学校の児童や、立ち寄った買物客などがあったかいうどんを食べたり、個性あふれるウェルカムボードを作るなどして楽しみました。

また、2月6日には笠岡おかみさん会主催の「みんなで巻こう 巻きずし大会」が開催されました。来場した親子連れなどは、のりに酢飯やかんぴょう、キュウリなどを乗せて巻きずしを作っていました。ほかにも、落花生のつかみ取りやバレンタインデーのチョコケーキ作りなども催され、たくさんの人でにぎわいました。



▶ みんなで巻こう 巻きずし大会

◀ 正しいお金の使い方を考えよう

2月16日、笠岡消費生活問題研究協議会が大島小学校5年生を対象に「子ども消費教室」を開催しました。

会長の佐藤芳子さんが、貯金の大切さ、銀行の仕組みについてお話しをされ、「何にお金を使っているかを調べ、むだ使いをしていないかチェックしてみましょう」と、おこづかい帳を手渡しました。

その後、ふすま紙の切れ端などを有効利用してカブトガニのレター箋を作り、リサイクルともの大切さを学びました。

